



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



小中合同あいさつ運動 今回はどうだ？



9日(金)に、12月の小中合同あいさつ運動が行われました。前回よりは元気の良い、気持ちの良いあいさつが橋の上に響き渡りました。

回を重ねるごとに、あいさつがレベルアップする取組であってほしいものです。



これぞまさに地産地消



9日の給食準備中、なわとびマラソン大会での豚汁の具材となる、白菜とネギを収穫しました。1年生のボランティアたちが松井先生ん指導の下、恐る恐る、でもていねいに一つ一つを収穫していきました。

これが大会当日にふるまわれる豚汁の中に入り、みなさんの胃袋に収まり、芯から温めてくれました。これを知り、さらに格別の味わいとなったことでしょう。これが本当の「地産地消」です。



更に更にこれを見よ！

これは前日の10日の夜7時から9時半まで、公民館で豚汁の準備をしてくださっている写真です。1年学年Pの皆様にお世話になりました。ありがとうございました。本当に感謝です。



こちらはキレイなトイレでお出迎え



こちらはトイレボランティア。急な呼びかけにも関わらず、12名の生徒が参加してくれました。仮設トイレでもあり、トイレの数が少ないので、落ち葉拾いや、剪定された後の木々の処理にも活躍してくれました。何より感心したのは、「先生、手伝います」「次は何をしたらいいですか?」「何かすることはありませんか?」と、積極的に問える生徒が増えてきたこと。これは本当に嬉しいことです。「自分の分担を果たす」…これももちろん立派なことではありますが、分担以上のことをやろうとする、一段階レベルの上があった姿勢が頼もしいです。参加してくれた12名、ありがとう!



人権集会で訴える



9日の6校時は人権集会でした。しかし何ということでしょう、よっぽど私に人権感覚がないのでしょうか、また出張で参加できず…。この3年間、ほとんど直接見ることはできません。相性ってあるんですよねえ…。

今回は2回目の集会。各クラス学級委員が、現在までの取組をふり返り発表、保健委員会がメディアアンケートの結果からの分析を発表、図書委員会が人権に関する絵本の読み聞かせを行いました。

それぞれが、それぞれの立場で人権について考え訴える。それを聞いた側も、また自分のこととして捉え考え、よりよく生活に生かそうとする…そんな人権集会であったことと思います。何たって伊里中学校ですもの。



実はその時、私は備前中学校の美術室にいたのでした。来年度、美術教育の全国大会が岡山で開催されるのですが、その時備前中の先生が授業を公開するのです。備前焼についての鑑賞の授業を行うので、今回はその予行?も兼ねて行われました。何か少しでも力になれば、と参加しましたが、みなさんの熱心な取組にタジタジになって帰って来ました。若い力っていいですねえ(遠くを見つめる目)。人間国宝の伊勢崎淳先生の作品が目の前に登場。今回のためにお借りしたそうですが、さすがにビックリ!でした。

